学校番号	327

令和８年度　理科（国際文化科）

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「改訂版　生物基礎」　（数研出版）						
副教材等	三訂版　リードLightノート生物基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育てるために、学習者は毎時間の授業を、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用し新しい見方を得ることにより、豊かな考え方、感じ方を身に付ける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などを行い，研究者として求められる素養を身に付け、知識を活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり，科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究しようとする能力と態度，科学的な自然観や倫理観を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付け、その知識を活用し、実験や実習、観察することのできる技能を習得している。	生命の誕生や生物の体内で起こる様々な現象、地球環境の中での生物の共通性の中に疑問点を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会と生物や生物現象の関係性に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性 顕微鏡の使い方と観察 エネルギーと代謝 光合成と呼吸 遺伝情報とＤＮＡ 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	a:地球上の生物に共通する生命活動に必要なエネルギーと代謝、ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解している。また、生物実験の基礎である「顕微鏡観察」の方法を理解し、その過程や結果を的確に記録、整理している。 b:生命現象と遺伝において、すべての生物に共通する箇所を見出し、どのようにして生物がそれらの共通性を獲得したのかを考察し、導き出した考えをレポートや発表で表現している。 c:生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡに関心や疑問を持ち、意欲的に探究している。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
2学期	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	a:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。 b:どのようにして体内環境が維持されているのかを仕組みの面から考察し、導き出した考えをレポートや発表で表現している。 c:　体内環境について関心や疑問を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
3学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移 植生の分布とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a:陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。 b:「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し，導き出した考えをレポートや発表で表現している。 c:急速に変化している地球環境ついて関心をもち、生態系の保全方法などを意欲的に探究しようとする。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ	提出ノート 振り返りシート 発表 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度